

# 令和4年度 事業報告

## 1. 事業の概要

新型コロナウイルス感染症の流行開始から3年が経過しましたが、昨年の夏から冬にかけて発生した第7波第8波の感染拡大以降、国民が一丸となって取り進めた感染防止に対する取組みや、希望する全国民を対象としたワクチン接種を始めとする医療体制の強化等により、新たな行動制限が発動される事もなく感染者数は減少の一途を辿り、現在、国民の日常生活は落ち着きを取り戻しつつあります。

また一方で、ロシアのウクライナ侵攻の長期化と急激な円安を背景に、私たちの日常生活もその影響を大きく受け、本センターにおいても材料費が高騰する等、その経営を圧迫する結果となっています。

このような中、当センターでは従来通り地域住民から頼りにされるセンターを目指し、会員・役職員が一丸となって事業の適正な運営に努めてきました。

令和4年度の請負事業実績では、前述した影響を受けながらも受注件数は、1,479件で前年度比0.2%減少したものの、事業収入は1.0%増加の82,929千円を確保することが出来ました。

一方、派遣事業では、受注件数で前年度に比べ5件減少し、これに伴って事業収入も10,918千円と4.1%の減少となり、結果として請負と派遣を合わせた事業収入全体では、前年度比0.4%増加の93,847千円となりました。

就業率では、請負が72.0%と前年度比7.2%減少し、請負と派遣を合わせた就業率でも77.7%と、前年度を6.0%下回りました。

事故件数では、物損2件、傷害1件の合計3件の事故が発生しましたが、幸いにも重篤な事故とはなりませんでした。

改めて、安全就業は全てに優先するものとして、会員一人一人が安全就業に対する意識を持ち、決して過信や慢心することなく、危険と判断したときには互いに注意し合うことで、安全な就業を確保することが重要です。

会員の確保については、稚内市の人口減少や定年年齢の引き上げ等により厳しい状況が続いており、昨年度末に比べ3名の減少となりました。

本センターの就業については、発注者の皆さんから、非常に真面目で丁寧との好評価を引き続き頂いており、今後も会員はもとより地域の方にも喜ばれるセンターづくりを進めていくことが重要です。

項目	令和4年度	令和3年度	前年度増減	比率
登録会員	175人	178人	△3人	98.3%
就業率(請負)	72.0%	79.2%	△7.2%	-
就業 延人員	請負 15,521人日	15,284人日	237人日	101.6%
	派遣 1,744人日	1,763人日	△19人日	98.9%
	計 17,265人日	17,047人日	218人日	101.3%
受注 件数	請負 1,479件	1,482件	△3件	99.8%
	派遣 8件	13件	△5件	61.5%
	計 1,487件	1,495件	△8件	99.5%
事業 収入	請負 82,929千円	82,089千円	840千円	101.0%
	派遣 10,918千円	11,383千円	△465千円	95.9%
	計 93,847千円	93,472千円	375千円	100.4%
事故発生件数	3件	3件	0件	—

※派遣事業は北海道シルバー人材センター連合会稚内市事務所として実施の一般労働者派遣事業です。

## 2. 事業の実施状況

### (1) 会員の拡大及び就業機会の確保・拡大

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、各種イベント等が相次ぎ中止となり普及啓発活動の機会が失われる厳しい状況下でしたが、役職員による街頭啓発、地元新聞への広告掲載、公共施設等へのチラシ配布、おためし入会等を例年どおり実施すると共に、新たに入会説明会を実施する事が出来ました。また、市内2か所で普及啓発パネル展を開催したほか、シルバーだよりを病院、温泉、図書館へ設置させて頂き、センター事業の市民への啓発の機会を新たに確保する等、厳しい中でも出来る取り組みを模索し活動を進めました。
- ・各種会議やシルバーだよりを始め、会員自らの「会員一人・一会員入会活動」の呼びかけ等により18名の入会が有りましたが、病気による退会等が相次ぎ、会員の増加には至りませんでした。しかし、「会員一人・一会員入会活動」の呼びかけは一定の効果があることから今後も継続していくことが必要です。
- ・会員の育成、技術向上及び伝達・伝承のための取り組みに関しては、刈払機安全講習会、冬囲い講習会のほか、派遣事業に従事する会員を対象にスキルアップ講習会を開催いたしました。

### (2) 安全・適正就業の推進

- ・安全・適正就業推進委員会を中心に、安全・適正就業強化月間に連動した啓蒙活動の取組を行うと共に、安全・適正就業推進委員会と地区安全・適正就業対策員との合同による安全就業現地巡回指導を春・秋各1回実施し、安全就業の喚起に努めました。
- ・昨年、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった「刈払機安全講習会」を、外部講師を招き開催いたしました。
- ・長期就業是正推進委員会を通じて長期就業の是正に引き続き取組むと共に、一般労働者派遣事業の活用による適正就業の取組も行いましたが、交代や就業する会員が見つからない等、徐々にですが会員不足による影響が表れ始めています。

- ・長年の安全就業への取り組みが評価され、全国シルバー人材センター事業協会から「安全就業優良センター」として全国表彰されました。

### (3) 運営基盤の安定・強化

- ・令和4年度は、国及び稚内市からは例年通りの財政的支援を受けることができましたが、一方ではセンターの安定的な運営には自主財源の確保が今後の重要な課題となっています。
- ・適切な財政運営を図るため、事業の見直しや経費の削減及び備品・消耗品の適切管理などに引き続き取組むと共に、インボイス制度の施行に合わせ、その対策として事務費の改定に着手しました。また、適正な経理事務の実施やセンター運営の透明性を確保するため、監事による定期監査を上期（4月～9月）と下期（10月から3月）の年2回実施しました。
- ・会員の適切な負担の在り方や財政基盤の強化に鑑み、会費の見直しや財政基盤の強化の柱となる特定費用準備資金の積立てについて検討いたしました。
- ・専門委員会は安全・適正就業推進委員会、長期就業是正推進委員会、就業開拓委員会、中期計画検証委員会の4委員会を延べ10回開催し、様々な課題について専門的な検討を行いました。  
また、広報紙に各委員会の活動状況を掲載することで、会員への情報提供を図りました。
- ・理事会の下に設置されている専門部会のうち、広報部会ではシルバーだよりの編集を、また総務・財政部会では会費の見直しの検討を行いました。

### (4) 関係機関・各種団体との連携強化

- ・稚内市や北海道、ハローワークとは引き続き良好な関係を維持した一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により各種会議が開催されない状況も散見され、具体的取り組みには至りませんでした。
- ・全シ協及び道シ連とは、新型コロナウイルス感染症の影響も有りましたが、総会をはじめ幾つかの会議が対面で開催されました。一方で各種研修会はオンラインでの開催となる等、まだまだ意見反映の機会を得ることが難しい状況でした。

### (5) 会員参加と計画的な事業運営

- ・会員の意見や要望などを直接伺う機会となる地区班会議は、新型コロナウイルス感染症に配慮しながら一つの班を除き開催する事が出来ましたが、参加率は昨年に比べ改善されたものの、31.3%(昨年26.8%)と依然として低迷しています。
- ・各種事業に関しては、第3次中期計画に基づいた運営に心がけると共に、中期計画検証委員会において検証・評価を行い、その結果を当該事業報告や令和5年度の事業計画に反映いたしました。